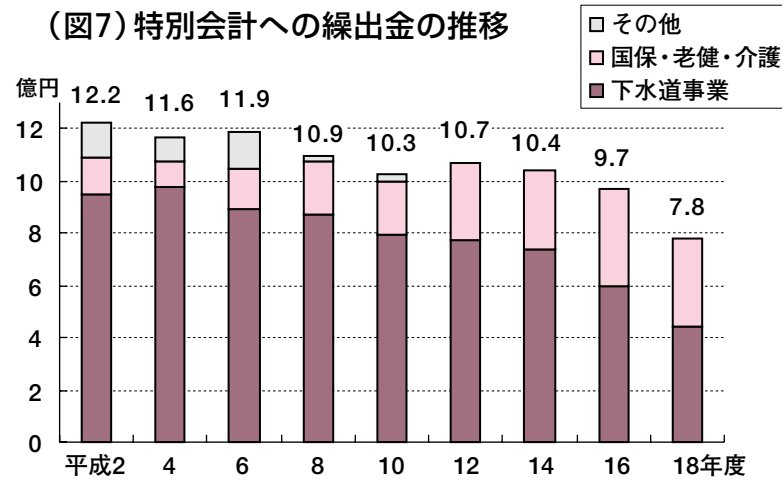


(図7) 特別会計への繰出金の推移

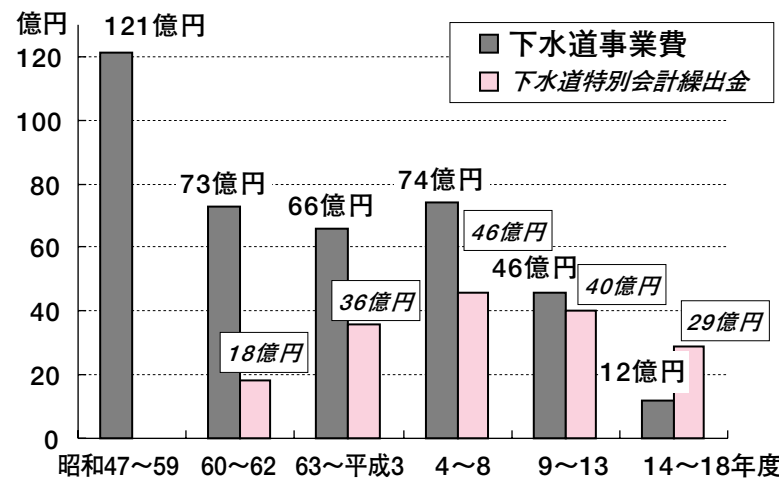


特別会計への繰出金の状況

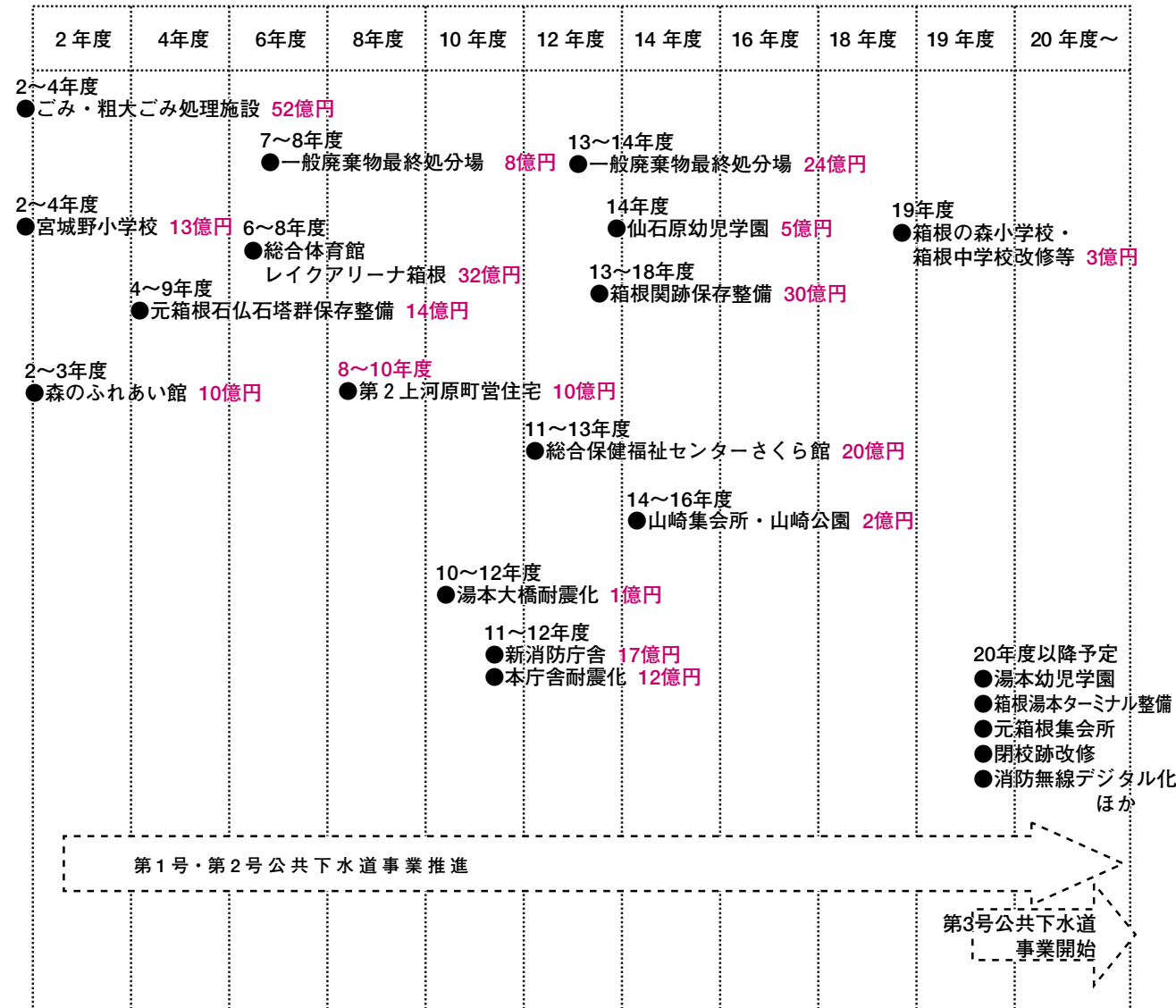
毎年度、一般会計から国民健康保険、老人保健、介護保険、下水道事業などの特別会計に対し、運営支援などのために毎年10億円ほどの繰出金の支出を行っています。今後は、医療制度などの制度改正や第3号公共下水道事業の開始などに伴い、繰出額の増加が見込まれます。

繰出金の70~80%を占めている公共下水道事業は、昭和47年の第1号公共下水道の着手以来、総事業費392億円を投入しています。今後も現在の施設維持に加え、新しい第3号公共下水道事業の整備を進め、環境保全、環境衛生の向上に向けた整備を進めます。

(図8) 下水道事業費等の推移



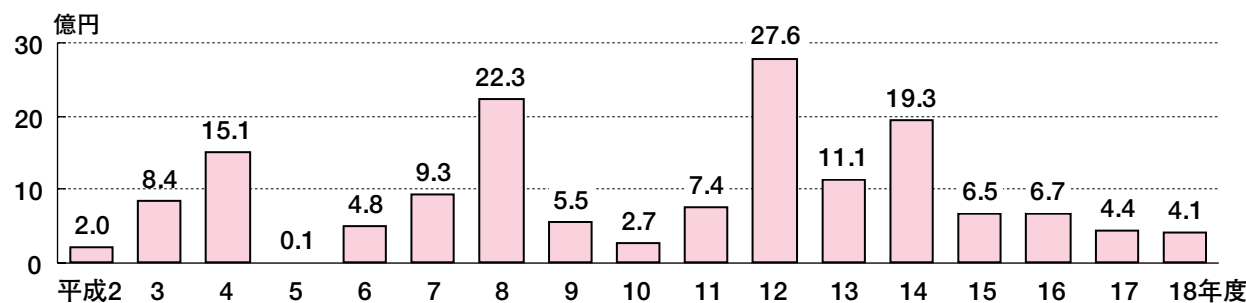
近年の大型施設建設の状況など



第1号・第2号公共下水道事業推進

第3号公共下水道事業開始

(図4) 借入金の状況



借入金返済金(公債費)・施設管理費増加の状況

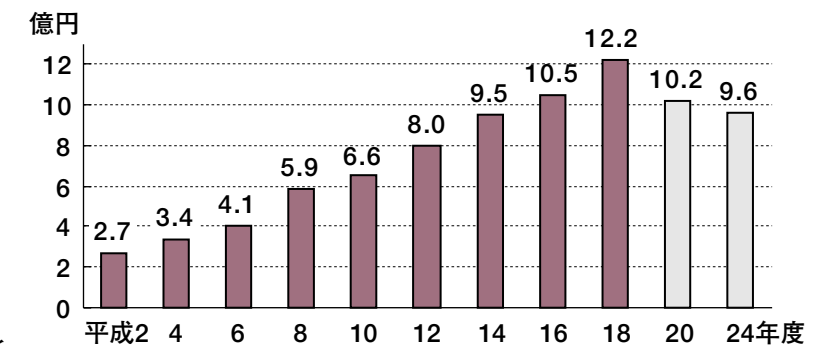
各種の行政需要に対応するため左の表のように、いろいろな施設整備を進めてきました。

新しい施設建設の資金については、将来、施設を利用する町民からも応分の負担をお願いする考え方から、借入れをして10年から20年の期間でそれを返済していますが、その返済金(公債費)が大幅に増加してきました。

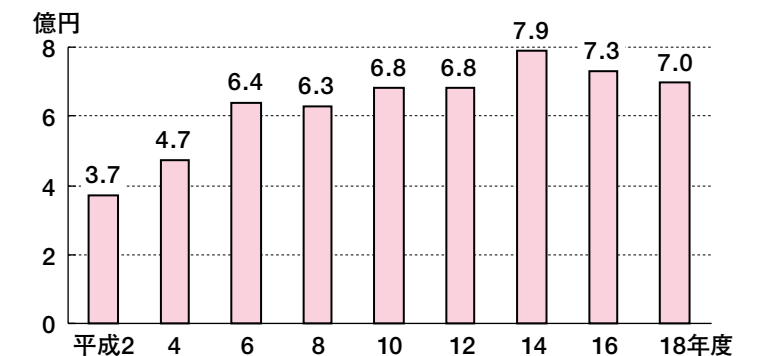
また、施設管理費は経常的支出が増額する要因でもありましたので、効率的で効果的な施設管理の見直しを強力に推進し、その抑制、削減に努めています。

しかし、今後は、老朽化が進む施設の改修費も大きな負担になりますので、学校統廃合後の校舎、跡地の利活用や未利用公有地の有効活用、公共施設の適正な再配置を具体的かつ速やかに進めなければなりません。

(図5) 借入金返済金(公債費)の推移および見込み



(図6) 施設管理経費の推移



主な施設の維持管理概算額(平成18年度)

- (人件費は含まない)
- ごみ・粗大ごみ処理施設 1億8,400万円
 - さくら館 1億1,400万円
 - 森のふれあい館 1,500万円
 - 小中学校 1億円、幼稚園・保育園 900万円
 - 総合体育館 5,000万円、公民館 3,400万円 など